

# 災害に備えてどれだけ準備してますか？ (実態調査：非常食・水・緊急予備資金)



東日本大震災から1年。あの震災直後は、食材などの調達に慌てた人も多かったのではないのでしょうか？

「今、災害に備えて、どれだけの非常食や水、そして非常用の緊急予備資金を準備していますか？」

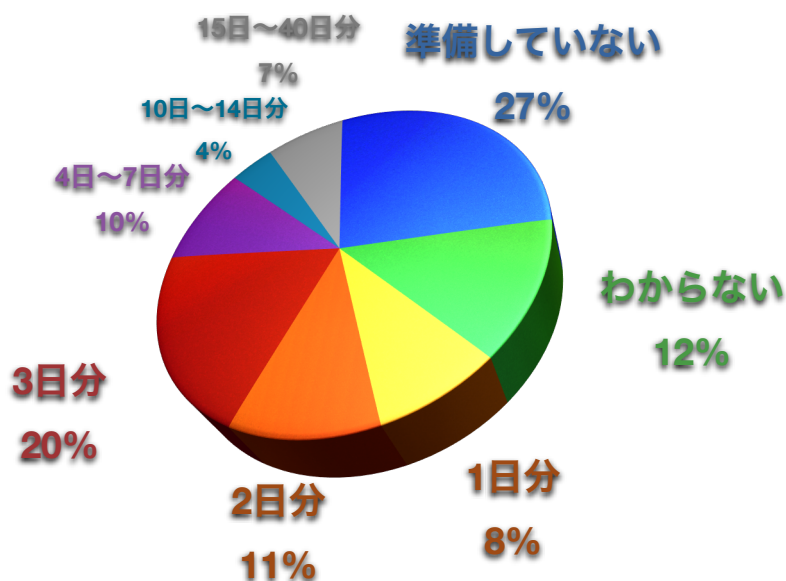
昨年、FP-RECOが開催した東日本大震災復興応援チャリティセミナー「災害に備えるお金のはなし」の参加者に聞いてみたところ、その実態は・・・？



## 非常食は4.6日分、「準備していない」が27%

セミナー参加者全体で、準備している非常食は平均4.63日分でしたが、準備している人の中では、3日分が多い回答でした。

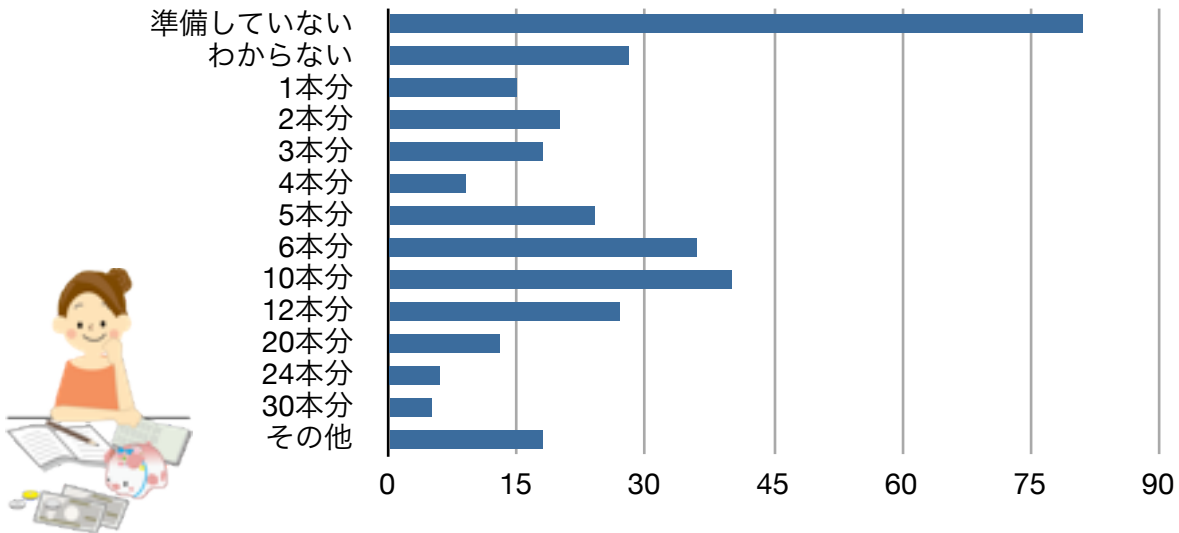
「準備していない」が全体の27%も占め、「わからない」と合わせると約4割にもなりました。まだまだ非常食の準備が十分でないことがわかりますね。



## お水の準備は、平均ペットボトル7.65本分

お水については、準備している人が比較的多かったようです。セミナー参加者の平均は、ペットボトル7.65本分。ちなみに、最高は180本分、次が100本分、72本分（すべて静岡県）でした。

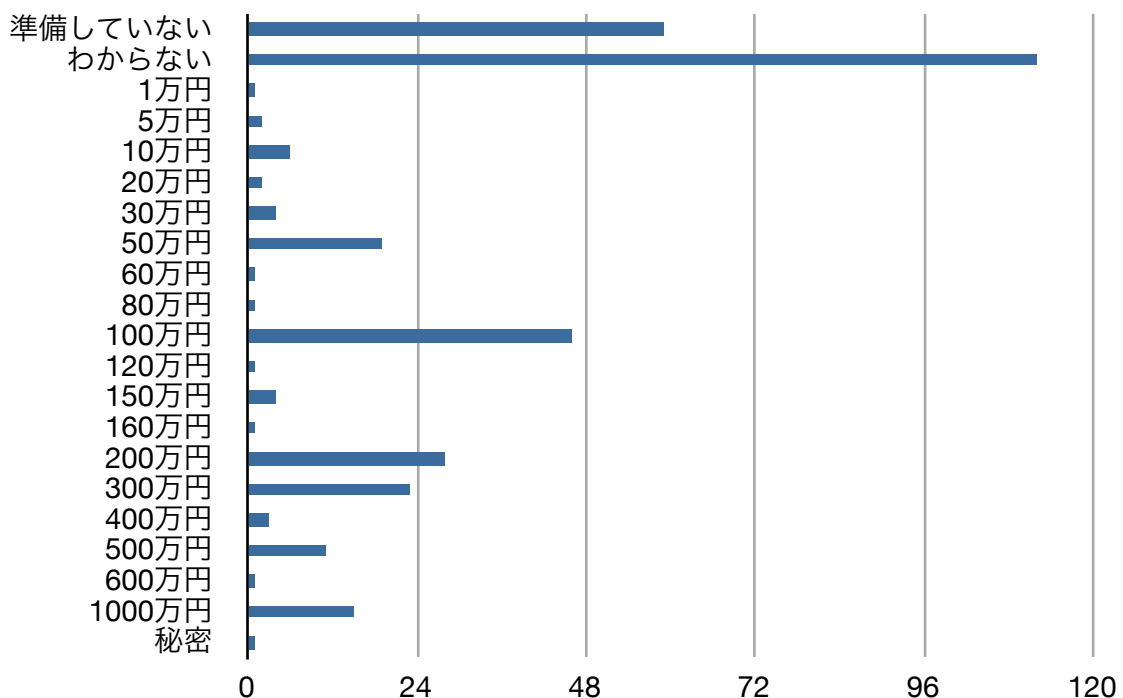
ただ、「準備していない」が全体の24%、「わからない」と答えた人と合わせると32%を占めています。



## 予備資金平均182万円、準備なし&不明が約6割

「非常時の緊急予備資金としては、いくら準備していますか？」という質問に対して多かった回答は100万円で、全体の15.8%を占めました。なお、最高額は1000万円で15人。

とはいえ、やはり、「準備していない」が全体の20.2%、「わからない」と答えた人と合わせると、全体の58.6%にも及んでいます。



## <アンケートから>

「準備していない」「わからない」ではすみません！  
非常食・お水、そして緊急予備資金の準備の再確認を！



このように災害に対する備えとして非常食・お水・非常用のお金、どれをとっても「準備していない」「わからない」という回答が多くありました。

セミナーでは、保険についてのみでなく、非常時の緊急予備資金の必要性についても、触れさせていただきましたが、今回、アンケートの3つの質問の中で、特に「**非常用の緊急予備資金**」について、あまり意識をしていなかった人が参加者の6割近くを占めたことは、大きな課題といえるのではないのでしょうか？

災害はいつまた私たちにふりかかるかわかりません。今日からでも、ぜひ、身の回りの備蓄をチェックしていただき、保存食やお水はもちろん、お金準備にも1日も早く着手して、災害に備える気持ちを忘れないことが、本当に大切といえるでしょう。

## <アンケート調査概要>

### ●調査対象

「東日本大震災復興応援チャリティセミナー～災害に備えるお金のはなし」の参加者（延べ591名）

### ●調査方法

セミナー直後のアンケートにて、3つの質問に対する自由コメント方式

### ●調査期間

2012年8月6日～10月2日

### ●実施エリア

秋田・千葉・埼玉・東京・神奈川・静岡・愛知・大阪・兵庫・滋賀・富山・福岡・長崎・宮崎

### ●回答数：最大364（質問内容によって異なる）

東日本大震災復興応援チャリティセミナーの詳細はこちら：

<http://www.fp-reco.co.jp/charity/>



発行：エフピーリサーチアンドコンテンツ株式会社

東京都千代田区一番町8-15

<http://www.fp-reco.co.jp/>